

研究の背景

車車間通信には端末やアプリケーションに限定されないサービスが必要と考えられます。そこで、我々は普段利用している無線LAN端末をそのまま車内に持ち込めるシステムを提案しています。

WAPLの車車間通信への応用

車車間でアドホックネットワークを構築します。

WAPは車車間ネットワークと端末を結びつけます。



端末やアプリケーションに依存しない柔軟な交通情報サービスが受けられます。

無線LAN端末はWAPLに繋ぐことでいつでもだれとでも通信できます。

様々な場面での活用

インターネット接続

アドホックネットワークに参加している車がゲートウェイとなることで回りの車もインターネットに接続できます。

シームレスハンドオーバー

車と自宅・レストラン・会社等の無線LAN環境の間で途切れることのない通信継続が可能です。



車外との通信

車外のWAPと接続している端末とも通信できます。

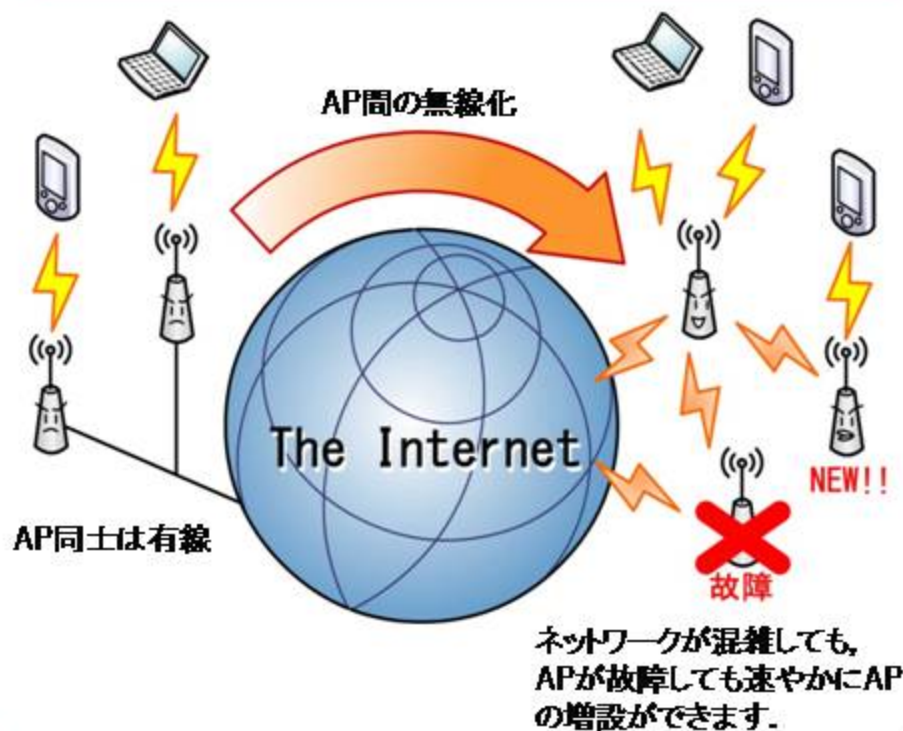
問い合わせ先

名城大学・理工学部・情報工学科 渡邊研究室 E-mail: wakabayashi@cc.m名城-u.ac.jp

研究の背景

現在, AP(Access Point)同士は有線で結ばれています。そのためAPの増設やAPの移動が不便です。そこで我々はAP間を無線化させるシステム“WAPL”を提案しています。

アクセスポイント間の無線化



WAPLの様々な応用

WAPLのシミュレーション
シミュレーションを用いて環境に合わせたネットワークの形態を研究します。



ネットワークシミュレータ



ITSとの融合
車車間や路車間の通信が可能になります。

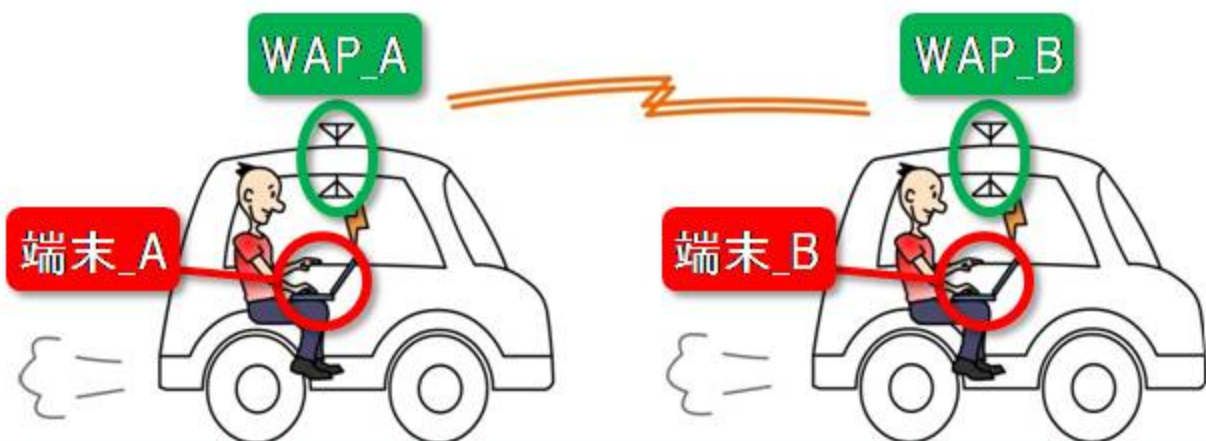
災害時の緊急通信
災害時, 飛行船からAPをばらまき, 安否確認の情報交換を迅速に行います。



問い合わせ先

名城大学・理工学部・情報工学科 渡邊研究室 E-mail: wakabayashi@cc.m名城.ac.jp

1. 車に乗っている人の無線LAN端末同士の通信



2. 片方の人が通信を維持したまま、他の施設に移動



3. 移動先との通信を維持

車が遠く離れても他の車やインターネットを中継して通信を継続.

